

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核対策特別促進事業			事業番号	011-236
担当部署名	健康福祉	局	保健部 保健所	部	感染症対策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民のうち結核に罹患した人 約200名
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> 結核の再発・多剤耐性結核を予防するためDOTS事業による確実な治療の推進を図る。 結核り患の多い高齢者等に対する結核予防事業を実施し、あわせて啓発を行うことで高齢者の結核り患率を低下させる。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> DOTS支援員（訪問看護師、協力薬局など）による服薬支援（DOTS）の実施。 ハイリスク者（高齢者など）に対する結核検診や啓発の実施。 <p>※DOTS…（Directly Observed Treatment Short Course）直接監視下服薬短期療法。患者の服薬を医療従事者が直接確認し、服薬を支援する治療方法。</p>
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人 堺市薬剤師会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 結核罹患率	%	目標値	18.0	18.0	策定中	策定中
		実績値	18.6	16.1		
		達成率	97%	111%		
		当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。			
目標値の設定根拠・算出方法	堺市の結核対策の推進に向けた基本目標参照。今後の目標については結核対策評価会議を実施し、令和3度中に策定予定。					
12 全患者に対するDOTS実施率	%	目標値	95	95	95	
		実績値	100	100		
		達成率	105%	105%		
		当該指標を選定した理由	全患者にDOTSを実施することで、確実な治療促進を図っているため。			
目標値の設定根拠・算出方法	前年の新登録患者に対するDOTS実施率。国の定める「結核に関する特定感染症予防指針」参照。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核対策特別促進事業	事業番号	011-236
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 事業費 (a)	5,184	5,445	7,837	4,661	6,553
財源内訳	国支出金	4,076	3,710	6,351	3,115
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	1,108	1,735	1,486	1,546	953
14 人件費 (b)	18,440	19,050	19,320	19,320	19,320
15 年間経費(c)=(a)+(b)	23,624	24,495	27,157	23,981	25,873

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
R3	予算	841	825	R3	予算	50	0		
会計年度任用職員雇用経費	R2	決算	3,355	240	服薬支援 (DOTS) 業務委託料	R2	決算	138	138
	R3	予算	3,342	0		R3	予算	385	0
システム回線通信料等	R2	決算	289	289	結核ハイリスク者検診	R2	決算	0	0
	R3	予算	265	0		R3	予算	440	0
研修会等参加旅費	R2	決算	100	100	外国人に対する治療・服薬支援員委託料	R2	決算	0	0
	R3	予算	362	0		R3	予算	302	0
研修会参加負担金	R2	決算	22	22	その他 (報酬、消耗品費、備品購入費等)	R2	決算	0	0
	R3	予算	100	0		R3	予算	466	128

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 新規登録患者数 (DOTS実施対象者数)	人	148	106
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,598	3,753
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	24,311	35,406
備考 (算出についての説明等)	前年の新規登録者に対するDOTS事業の費用を計上。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の対応により当該業務の対応職員数が減少したが、DOTS方法を工夫し、確実な支援を実現できた。保健所職員が直接面会にて行う訪問DOTSを行う機会が減少し、郵送や委託によるDOTSの回数が増えたため、費用対効果は低下したと考えられる。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から、直接面会にて行う訪問DOTS業務が減少したが、電話等による服薬支援を行い、全患者に漏れなく実施した点は評価できる。(ただし、高齢者等へ確実な服薬支援を実施するためには引き続き訪問によるDOTSは継続する必要がある。) また、新規排菌患者の治療完遂率も100%であることから、患者支援及び感染防止に寄与できていると考える。</p> <p>加えて、令和2年度にモバイルワークの導入を検討し、患者管理の一部データ化を図った。このことにより、DOTS業務における患者の服薬漏れや治療中断を減少することができ、今後の業務効率の向上につながると考えられる。</p>
----	---